

2015/10/4～10/8

岡本（単独）

秋になったものの、天気が悪く中々山へ行くことができない。と、突然季節外れの冬の高気圧が現れ、この天気を狙い東北へ行くことにした。出発前日の宿泊予約のため、山の近くの温泉は満室で、盛岡と弘前のビジネスホテルを予約。後は野となれ山となれで、10月4日早朝、適当に荷物を車に載せ出発、盛岡を目指す。時間・距離等何も考えずに出発したから仕方ないが、盛岡着は深夜に近く、車のメーターを見ると、大和高田から1,200kmを超えている。疲れたので、今日はとりあえず寝る。

10月5日、自分の天気予報では今日は快晴のはずだが、薄曇り、目的の岩手山は雲の中。7時15分、一番楽そうな「馬返し登山口」を出発。流石に東北、この辺りでも木々は微かに色づく。少し登ると早くも紅葉。どうやら1,000m辺りから色づきはじめているようだ。登山口から8合目辺りまで、標高差1,200mひたすら登る。しかし3合目辺りからはガスの中。涼しく、何も考えずに登れることだけが幸いで、期待した景色は何も見えない。8合目を過ぎると、今度は涼しいどころではなく、ガスと風、そして8合目の避難小屋で気温2℃、秋山のつもりが突然冬山になる。頂上に近づくとガスが雪に変わり、樹氷ならず岩に氷がへばりつく。火口一周の予定だったが、強風と寒さでそれどころではなく、ただ、証拠写真だけを目的に山頂を目指す。人のいない山頂を残し、後はひたすら下山する。12時50分、登山口着。



(岩手山・馬返し登山口)



(岩手山・2合目付近の紅葉)



(岩手山・山頂手前)



(岩手山・山頂)

予定より早かったので、弘前まで行く途中、寄り道して八幡平のアスピーテラインを走る。雲ともやもあり、所々紅葉らしきものが見えるものの、写真になるような景色無く、虚しく弘前まで走る。弘前の街もどんよりした感じで、寒い。気温も10℃ない。30℃近い気温のとこから来たこの体には、まだこの気温はなじまない。ホテルに入り、酒を飲んで寝る。

10月6日、今日は快晴だ。やっと目的が叶った。今日は八甲田山に行くことにする。酸ヶ湯温泉→大岳→赤倉山→毛無岱→酸ヶ湯温泉、このコースに決める。朝、7時過ぎに酸ヶ湯温泉に着く。快晴の空と紅葉が素晴らしい。朝というのも良い。今日は気分良く登れそうだ。7時17分、登山口の古びた鳥居をくぐり出発。最初足元の悪い、泥だらけの道が続く。歩くこと約1時間仙人岱に着く。ここで泥道から解放される。ここで休み、八甲田山の最高峰の大岳まで一気に登る。山頂は360度のパノラマ、快晴と紅葉。これでやっと1,300km走ってここまで来た甲斐があった。ここから赤倉岳までは、素晴らしいパノラマが楽しめる。ロープウェイ駅へ向かう途中から毛無岱へ行く。30分程、最悪の泥道を行くと毛無岱にでる。今は花のシーズンではないが、よく写真でみる風景に出会う。11時40分、満足して酸ヶ湯温泉に戻る。



(朝の酸ヶ湯温泉)



(八甲田山酸ヶ湯登山口)



(八甲田山・山頂)



(八甲田山・山頂から岩木山方面)



(井戸岳から火口と大岳)



(毛無岱、右から大岳、井戸岳、赤倉岳)



(ゴールドラインの紅葉)

時間にも余裕があり、この好天、ついでに紅葉の中、八甲田・十和田ゴールドラインを走る。やはり、1,000m以下での紅葉はまだで、八甲田山山麓の紅葉は楽しめたものの、奥入瀬溪流や十和田湖の森はまだ青いままだ。が、その分、観光客も少なく、それなりの雰囲気を楽しむことが出来た。

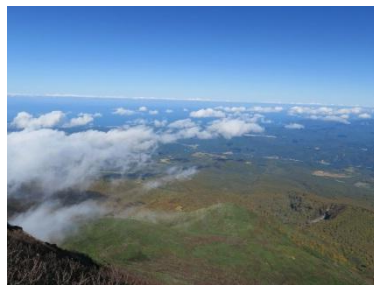
10月7日、岩木山を目指す。下から歩こうと思ったが、前から行きたかった十二湖へも回りたかったので、ずるをして津軽岩木スカイラインを目指す。7時にスカイライン入口につくも、オープン



(十和田湖)



(岩木山山頂)



(岩木山山頂から日本海方面)

8時、遠方から来た車が何台かいる。漸くオープン、一番上の駐車上に着くも、強風とガス、何も見えない。8時22分出発、50分弱で山頂に着く。ガスが晴れないので、とりあえず証拠写真を撮る。下山を始めると俄にガスが切れだす。再び山頂に戻ると雲の切れ

間から津軽平野や日本海が見える。大パノラマとはいかないが、へぼな写真を撮りまくる。少しほっとして今度は十二湖へ回る。

地図でみていると近くと思ったが、意外に遠い。憧れのあった場所だから、良くも悪くもともかく行ってみたかった。紅葉はまだで、風景も思ったほどではなかった。知床五湖のイメージを持っていたが、少し夢が破れた感じだ。明日、白神岳へ行こうと思っていたが、ここに来て無理だと分かった。弘前から登山口まで2時間半、往復7~8時間、その後1,300kmのドライブ、これは死ぬ。あちこち回りながら弘前のホテルまで戻る。ホテルで酒を飲みながら、明日の行き先を考える。1,300kmのドライブもあり、帰り道にある、行ったことのない平泉に寄ることにした。



(十二湖、青池)



10月8日、朝8時20分、中尊寺に着く。境内を清掃する人はいるものの、観光客は殆どいない。1人金色堂への参道に行く。金色堂に入るもがら〜んとして静まりかえっていて、1人ゆっくり国宝を眺める。意外感のある静かな境内をゆっくり巡り、何となく心が満たされた気分になる。

ここまで来たので、ついでに毛越寺にも寄る。こちらは広々とした池と庭の寺で、中尊寺とは全く雰囲気が違う。まあ、こんなものかという感じで一回りして寺を出る。後は、ひたすら1,000 km以上のドライブをこなす。



(中尊寺の境内、静かな参道)